

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
株式会社塚腰運送	代表取締役社長	塚腰 智之	京都市	運送業	http://www.tsukagoshi.ne.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新: 2019年8月30日

(取組方針)

・社会活動に必要な不可欠な社会インフラである物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の革新的・革命的改善に取り組みます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反を生じる恐れがある契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、当社が率先して労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守します。又、取引先の物流事業者も同様に同法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の附帯サービスに関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、契約内容の遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	A	⑦	運転以外の作業部分の分離	・運転業務と運転以外の附帯業務について業務分離を推進し、労働時間管理と労働時間超過の防止に努めるとともに、受注範囲の可視化による事前計画の精度向上に取り組みます。
2	B	②	運賃と付帯サービス料金の別建て契約	・運送契約を締結する場合には、運送の対価(運賃)と運送以外の役務等の対価(料金)を別建てで契約することを原則とします。加えて現場における追加の作業依頼や荷待ち等、荷待ち時間・荷役作業等の記録義務に従って記録し、管理監督者が適切に指示を出し、当社として主体的に現場改善に努めます。
3	D	②	異常気象時等の運行の中止・中断等	・台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運行計画を行いません。また、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断等の判断は、当社の運行管理規程に従い実施します。また全拠点に災害用の食糧をはじめ、衛生用品等、当社の定めるガイドラインに従い、一定量を備蓄、管理し、有事の際には従業員及び周辺住民にも配布し、会社と地域住民の安全・安心に貢献します。
4	F	①	人財育成	・当社は、教育に特化した組織を設置し、独自の教育プログラムを展開しており、当社の人財育成はもとより、関係協力企業社員の教育事業に発展させ、共通の課題である人材不足解消への取組みを牽引します。また、当社の多岐に亘る分野で事業の標準化を目指し、年齢、性別を問わず、健全な社会活動を支える人財を輩出します。
5	F	②	情報ネットワークシステムの構築等によるドライバーの健康管理レベルの向上	・トラック乗務員が適切に休憩・休息を取り、運行指示計画に基づく安全運行が行えるよう、運行計画の段階で必要とされる情報収集や全拠点の受注を一元的に管理するネットワークシステムを構築しました。また、乗務員の健康管理に役立つ情報提供や生活習慣病に係る運動・食事指導など、会社として積極的に健康的な身体づくりのための啓蒙活動を展開しています。
6	F	③	事故ゼロへの挑戦	・会社横断的な業務遂行と教育事業部との柔軟な連携を武器に、当社の社会的責務はもとより、当社の業務に携わる関係協力企業先に至るまで、当社の求める「事故ゼロ」の品質に達成するための事業活動を支援します。
7	F	④	Corporate Sustainability	・当社の管理業務である【5S活動】の根幹的戦略思考は、物流分野で培った創造的発想を開化させ、サプライヤーをはじめ、多角的分野のステークホルダーとの共同研究開発を積極的に行う原動力となり、今後も社員一丸となって更なる進化と発展の実証を示して参ります。

PR欄

当社は“全社員が経営者”である経営を理想とし、経営者視点で行動できる人財づくりに積極的に取り組んでいます。経営者視点とは、会社の行動指針や理念に沿って自発的に行動する人であり、当社ではそれを「塚腰人(つかごしびと)」と呼んでいます。塚腰人を育成するための手段として最も力を入れている取り組みが、「5S活動」です。仕事において、全ての基本は5Sにあると考えています。